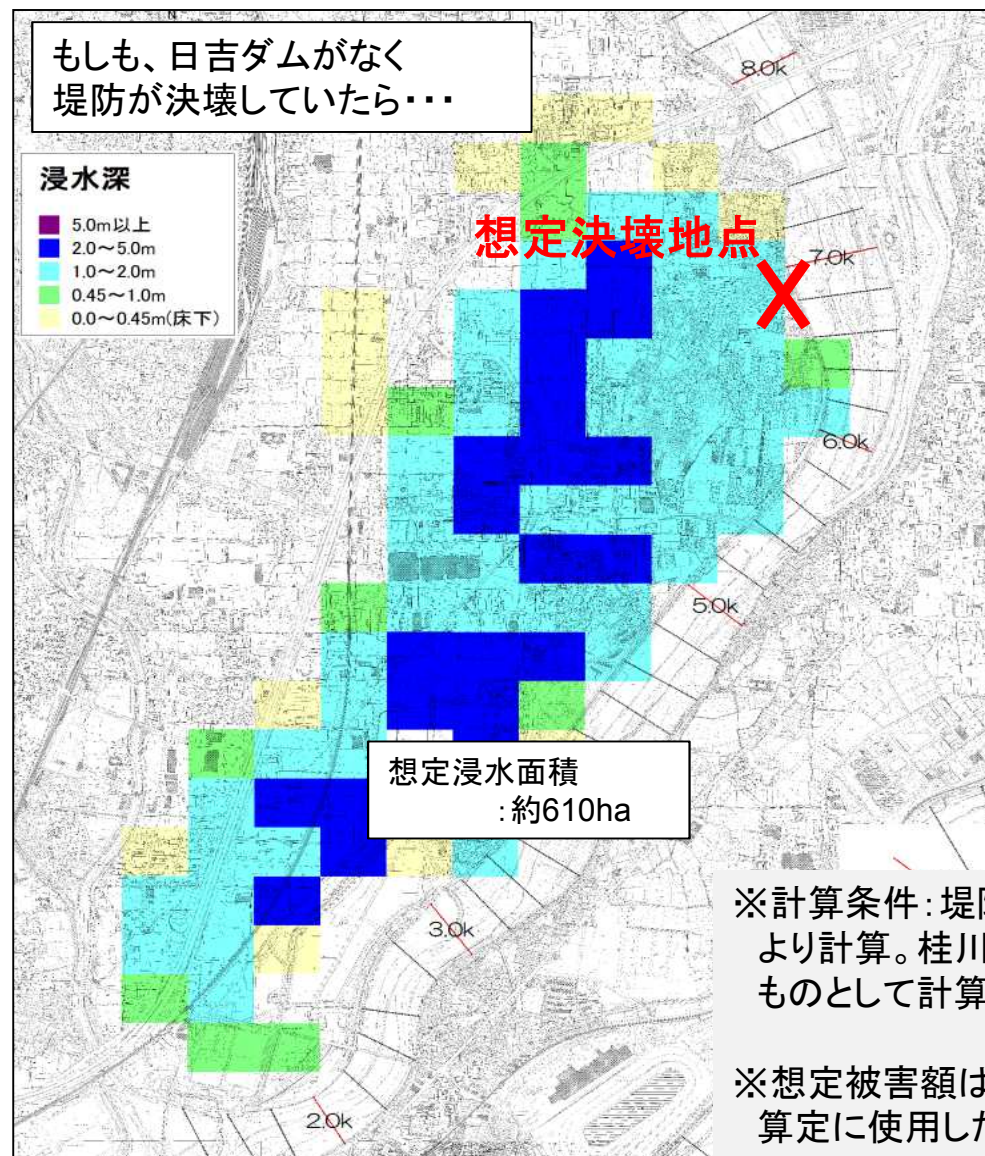


桂川における台風11号の日吉ダムの効果

国土交通省 近畿地方整備局
独立行政法人水資源機構 関西支社

もしも、日吉ダムの洪水調節がなかったら・・・

○もし、日吉ダムがなく、今回の洪水で桂川右岸の堤防が100m決壊したと仮定すると、浸水戸数約7,900世帯、経済被害額は約3,400億円の浸水被害が発生していたと考えられる。



**決壊した場合の想定浸水面積
約610ha**

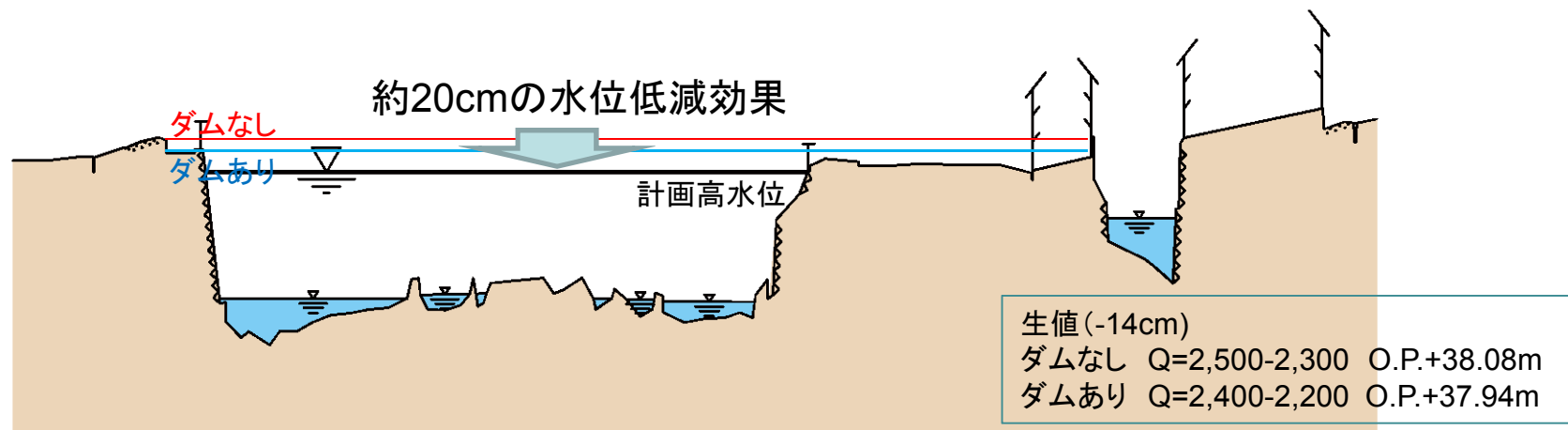
**決壊した場合の想定浸水世帯数
約7,900戸**

**決壊した場合の想定被害額
約3,400億円**

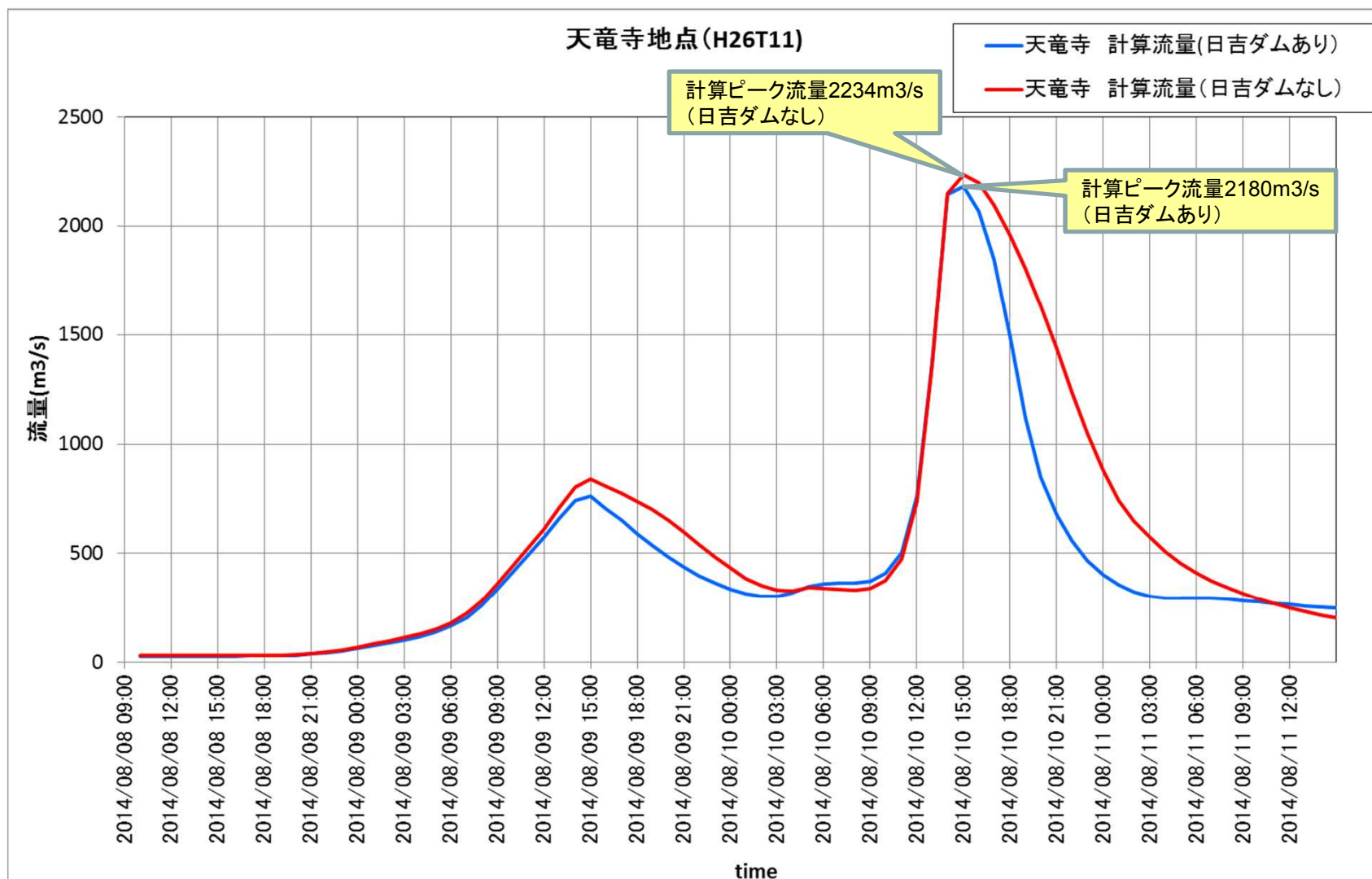
※計算条件: 堤防が決壊した場合の浸水状況を氾濫シミュレーションにより計算。桂川右岸7k地点で約100mにわたり計画高水位にて決壊したものと計算。

※想定被害額は治水経済調査マニュアル(案)により算定。
算定に使用したデータ: 国勢調査H17, 事業所統計H18

○日吉ダムの洪水調節効果により18.0k(渡月橋下流付近)で約20cm水位低下効果があった。



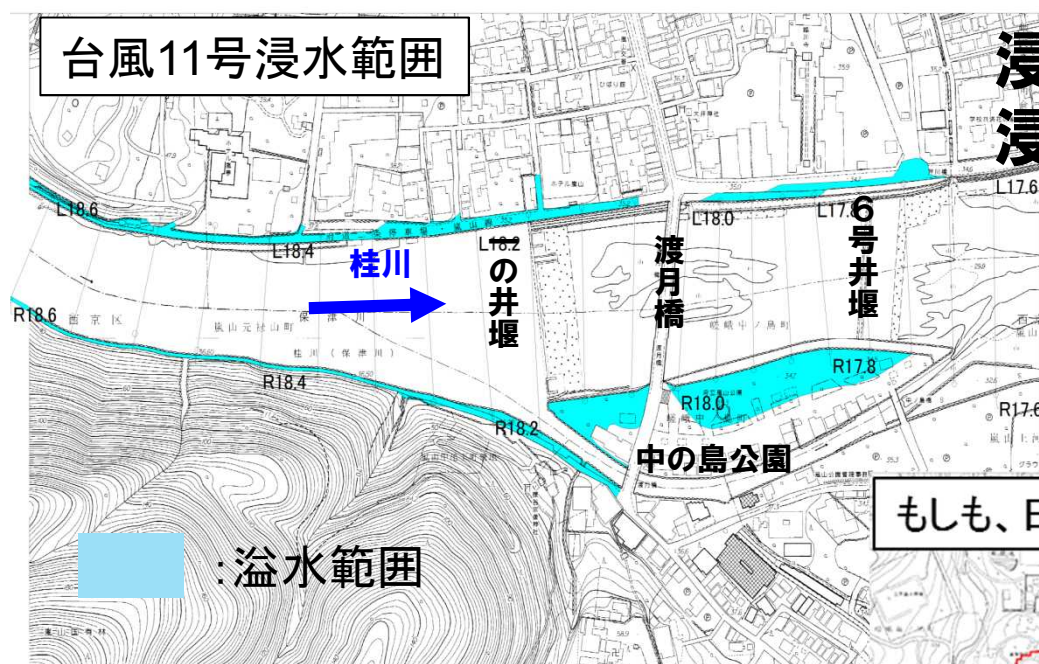
○日吉ダムが洪水調節を行わなかった場合の天竜寺地点の流量を推定した。



日吉ダムが洪水調節を行わなかった場合の天竜寺地点流量

嵐山地区における日吉ダムの効果 (平成26年8月 台風11号)

○もし、今回の洪水で日吉ダムの洪水調節がなかった場合には、浸水面積は約4.2ha、浸水戸数は約36戸の浸水被害が発生していたと考えられる。



浸水面積: 約1.9ha
浸水戸数: 0戸

